

『お客様本位の金融サービスを実現するための方針』に関する取組み状況

とちぎんTT証券は、栃木銀行グループの一員として、「お客様に適したきめ細かなサービスを提供し、ご満足いただいた結果が地域の活性化に結びつく証券会社」を目指し、お客様本位で行動する事を実践しております。今回2019年3月末現在の「比較可能な共通KPI」を公表いたします。

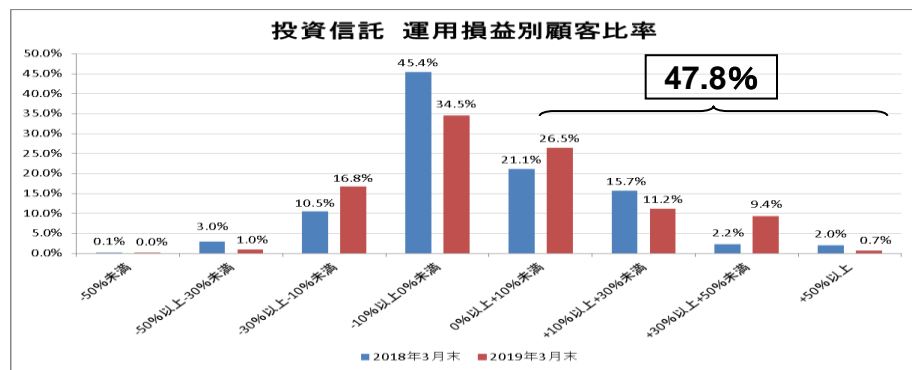
2019年6月28日

「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」の状況について

2018年6月に金融庁より公表された「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIについて」において、お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客様が選ぶ上で比較することができる統一的な指標(以下、「比較可能な共通KPI」)が示されました。当社の「比較可能な共通KPI」は以下のとおりです。

(KPIとは、“Key Performance Indicator”の略で、一般に業績測定のために鍵となる指標のことです。)

○ 投資信託の運用損益別顧客比率



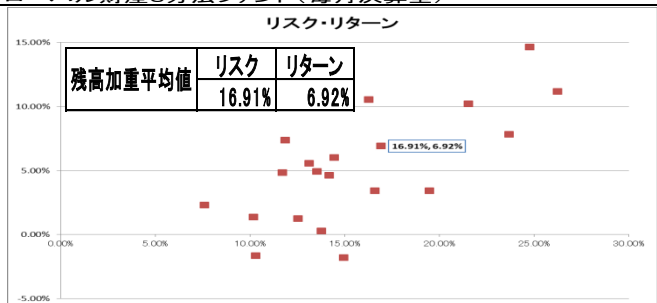
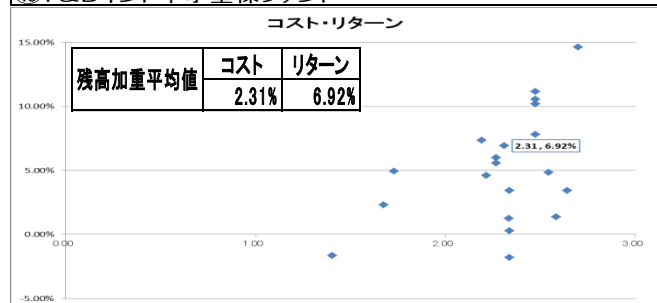
左図は、投資信託を保有しているお客様について、基準日時点で保有している投資信託の購入時以降の累積運用損益(手数料控除後)を算出し、運用損益別にお客様の比率を示した指標です。

当社において、運用損益がプラスとなったお客様の比率は全体の**47.8%**となり、前年(41.0%)より**6.8%**増加しました。

○ 投資信託の預り残高上位20銘柄とコスト・リターン・リスクの状況

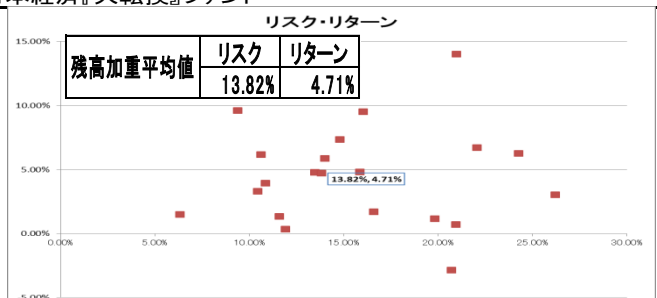
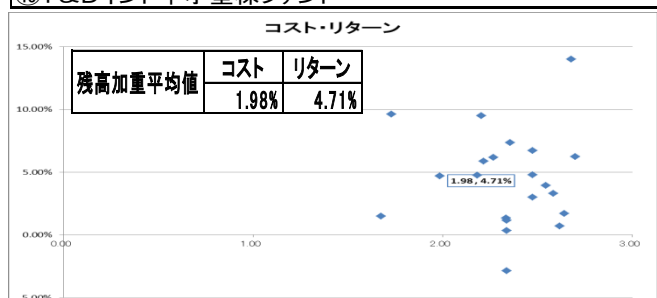
【2018年3月末】

銘柄名(1位~10位)	銘柄名(11位~20位)
①J-REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)	⑪グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
②ピクテ・バイオ医薬品F(毎月決算型)為替ヘッジなしコース	⑫ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)
③ニッセイオーストラリア利回り資産ファンド(毎月決算型)	⑬エマージング・ボンド・ファンド・豪ドルコース
④日本株厳選ファンド・円コース	⑭エマージング・ボンド・ファンド・トルコリラコース
⑤ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	⑮日本株厳選ファンド・米ドルコース
⑥日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース	⑯米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通貨プレミアム
⑦国際インド債券オープン(毎月決算型)	⑰日本株厳選ファンド・豪ドルコース
⑧ピクテ新興国インカム株式ファンド(毎月決算型)	⑱短期豪ドル債オープン(毎月分配型)
⑨エマージング・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	⑲ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)
⑩T&Dインド中小型株ファンド	⑳グローバル財産3分法ファンド(毎月決算型)



【2019年3月末】

銘柄名(1位~10位)	銘柄名(11位~20位)
①ピクテ・バイオ医薬品F(毎月決算型)為替ヘッジなしコース	⑪グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
②J-REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)	⑫ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)
③日本株厳選ファンド・円コース	⑬米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通貨プレミアム
④ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	⑭エマージング・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース
⑤ニッセイオーストラリア利回り資産ファンド(毎月決算型)	⑮イーストスプリング・インドネシア株式オープン
⑥国際インド債券オープン(毎月決算型)	⑯エマージング・ボンド・ファンド・トルコリラコース
⑦日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース	⑰エマージング・ボンド・ファンド・豪ドルコース
⑧ピクテ新興国インカム株式ファンド(毎月決算型)	⑱日本株厳選ファンド・米ドルコース
⑨ニッセイJPX日経400アクティブファンド	⑲マニライフ・新グローバル配当株ファンド(毎月分配型)
⑩T&Dインド中小型株ファンド	⑳日本経済『大転換』ファンド



コストは販売手数料率の1/5と信託報酬率の合計値、リスク・リターンは年率換算の数値です。

上記の数値等はあくまで過去の実績であり、将来のコスト・リスク・リターンをお約束するものではありません。